

## 第2学年 社会科歴史的分野学習指導案

日時 平成28年10月19日(水)第5校時

### 1 単元名 第4章 近世の日本 第3節 産業の発達と幕府政治の動き

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の歴史的分野の内容(4)近世の日本のウ及びエを受けて設定したものである。この単元でねらいとしていることは、以下の2点である。

ウ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。

エ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。

江戸時代は、徳川家康が征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開いたことにより始まる。そして、家康による公家・大名統制や貨幣の鑄造権の掌握、二代将軍秀忠による武家諸法度の発令や百姓の統制、そして三代将軍家光による参勤交代の制定や鎖国体制の確立などの多面的・多角的な政策が功を奏し、結果的に約260年に及ぶ天下泰平の時代となった。特に、武断政治から文治政治への転換を図った五代将軍綱吉以降の歴史は、大きな内乱もなくなり、名実ともに天下泰平の時代であったと認識されていることが多い。同時に、この時代の歴史の進行は、一見停滞していたように見られる。しかし、実際は、一般庶民である町民の経済的発展が目覚ましく、元禄文化の隆盛期以降、武士階級を逆に支配するような情勢に至っている。彼らの経済活動は、好むと好まざるとにかかわらず、現代資本主義への移行の様相を示している。それに対して、貨幣の鑄造権を持っていながらも米本位制に歳入の大部分を委ねている江戸幕府の財政は、その体質を転換することが出来ないまま逼迫していく。そして、八代将軍吉宗から、田沼意次、吉宗の孫の松平定信と、幕府内では様々な政治改革が実施されるが、最大の目的であった幕府の財政の長期的な健全化を達成することは出来なかった。

その頃、欧米諸国では、産業革命の時代を迎えていた。そして、鎖国を行っている日本にも、その影響がもたらされるようになっていた。特に、イギリスが長崎で起こしたフェートン号事件は、幕府の国防に関する問題点を浮き彫りにしたといえる。国外からの危機が迫る時代の中で、水野忠邦による天保の改革が行われたが、無謀な権力政治は時流を逆流させることは困難であり、江戸幕府は急速に力を失っていくこととなる。そして、泰平の眠りから目覚める日が近づいてくるのである。

本単元に関して小学校では、元禄文化・化政文化に関する内容について深く学習している。しかし、様々な政治改革については、学習を行っていない。そのため、「江戸幕府の政治は、どのような内容だったのか?」をしっかりと捉えさせると共に、「江戸幕府の政治はなぜうまくいかなくなってしまったのか?」という問いについて考えさせ、その原因と言える当時の社会構造の変化を大まかに捉えさせていきたい。

## (2) 生徒観

本学級の生徒は、静かな雰囲気の中で社会科の授業に取り組んでいる。授業への意欲は感じ取れるが、挙手や発言において、自分の意見を積極的に述べる生徒は少ない。しかし、定期試験を通して、基本的な知識の定着を確認することができている。また、内容別調査では地理的分野より、歴史的分野の正答率が高かった。

本単元に対する生徒の興味・関心や小学校での既習状況を確認するためにアンケートを実施した。アンケートの内容と結果は以下の通りである。

江戸時代に関するアンケート (32名回答・3名欠席)				
問1 社会科の学習は大切だと思いますか？				
はい 94%      いいえ 6%				
問2 あなたが最も興味を持っているのは何時代ですか？				
縄文 (13%)	弥生 (0%)	古墳 (0%)	飛鳥 (0%)	奈良 (0%)
平安 (6%)	鎌倉 (13%)	室町 (0%)	戦国 (38%)	江戸 (3%)
明治 (13%)	昭和 (6%)	平成 (9%)		
問3 江戸という時代で思い浮かぶ人物を一人書いてください。				
徳川家康 (44%)	坂本龍馬 (6%)	歌川広重 (6%)		
伊能忠敬 (6%)	西郷隆盛 (3%)	分からない (33%)		
問4 江戸という時代で思い浮かぶ事を一つ書いてください。				
江戸幕府 (13%)	ペリー来航 (6%)	解体新書 (3%)		
歌舞伎 (3%)	豊臣家の滅亡 (3%)	わからない (72%)		
問5 江戸時代が明治時代が変わったきっかけについて、何か知っていることを書いてください。				
ペリーが来航したから (3%)	鎖国をやめて開国したから (3%)			
最後の将軍が幕府を終わらせたから (3%)	わからない (91%)			

アンケートの結果から読み取れる生徒の実態は、次のとおりである。

1つ目は、生徒の本単元に対する興味は非常に低いということである。生徒が最も興味をもっている時代は、直前まで学習した戦国時代 (38%) であった。次に縄文時代・鎌倉時代・明治時代が同列 (13%) で並び、江戸時代と回答した生徒はわずか3%という結果だった。小学校では鎖国体制や元禄・化政文化、ペリー来航などで比較的深く学ぶ時代であり、生徒の興味も惹きつけやすいと考えていたため、この結果は意外であった。

2つ目は、江戸時代における小学校での既習事項の定着が乏しいということである。今回の単元でも、アンケートの結果から分かるように、小学校での学習内容の定着が残念ながら伺えない。小学校の教科書を提示し、既習事項を思い出させようとしたが、写真や人物名にやや反応があったのみで、どのような学習をしてきたかについて思い出した生徒は少なかった。そのため、まずは基礎的な内容からしっかりと復習させていくことが求められている。以上のことを考慮しつつ、単元の学習を進めていく。

### (3) 指導観

本単元は、生徒の実態をふまえつつ、次の3点に重点的を置いた指導を行う。

#### ① 話し合い活動に導く一斉授業を構成し、生徒が自ら知識を定着しようとする意欲を高める。

シンプルな一斉授業で基礎・基本の知識を定着させる。その際に、『一斉授業の内容は、授業内での話し合い活動で自分の考えを組み立てる際に重要になる』ということ理解させ、自ら知識を獲得しようとする意欲を高めておく。また、構造的で見やすい板書で、話し合いが始まったときに根拠を見つけやすくしていく。

#### ② 学習課題を追求していく中で、対立軸を設定し、話し合いを実施して考えを深めさせる。

大がかりな調べ学習ではなく、普段行っている一斉授業の中に自分なりの価値判断を伴う話し合い活動を位置付け、繰り返し実践していく中で、公正な判断力や、多面的・多角的な思考力、豊かな表現力を身に付けさせていく。

#### ③ 振り返りの時間を設け、自己の思考の深まりを確認すると共に、基礎・基本の定着を図る。

授業の最後に本時の課題に対する自分の答えを書かせ、自己の思考の深まりを確認する。また、それを発表し、クラス全体で情報を共有することを通して、基礎・基本の定着を図る。

## 3 研究主題との関わり

思考力・表現力を育む学習指導の推進  
～言語活動の充実を小中一貫教育の中核と捉えて～

社会科では学校研究主題を受け、以下の4点に取り組んでいる。同時に、生徒一人一人の多様な教育的ニーズに応じる適切な指導や支援（授業のユニバーサルデザイン化）を実現し、『全員参加を保障する授業の創造』を目指している。

#### (1) 学習内容の整理・系統化

小中一貫の研修を通して、7年間の社会科の学習内容を整理・系統化し、発展的な学習を行えるように努めている。

#### (2) 視聴覚資料の活用

小学校で使用した視聴覚資料を中学校でも活用し、既習事項を活かした授業を実施している。

#### (3) 協働の考えをふまえたALの実践

小学校での話し合い活動の方法を授業に取り入れ、よりスムーズな話し合いと、それによる問題解決が出来るようにしている。

#### (4) 基礎・基本の定着の為の小テストの実施

毎時間小テストを実施し、日々復習する習慣を身に付けさせていく。

## 4 単元の目標

江戸時代の産業や交通の発達、町人文化の発展に伴う社会の変動や、欧米諸国の接近に伴う新しい学問・思想の動きなどを通して、江戸幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。

## 5 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどに対する関心を高め、学習課題に対して意欲的に追及している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>

## 6 単元の指導と評価の計画（8時間扱い）

※生徒が使用している歴史教科書は、東京書籍（H24 発行）です。

時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価方法・観点
第1時	<b>農業や諸産業の発達</b>		
	<b>本時の課題：江戸時代の貨幣経済は、人々の生活にどのように広まっていったのか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の耕地面積と、米の生産量のグラフから、農業が発展したことを読み取り、理由を考える。</li> <li>技術の進歩に伴い、諸産業が発達し、貨幣経済が広がりを見せていく中で、人々の生活が変化したことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>唐箕や千歯こきなどの農具と生産性の向上の関連を理解させ、百姓の生活に対して関心を高めさせる。</li> <li>百姓の生活を概観させ、その中にある貨幣経済の広がりを理解することで、これから学習する大単元の課題について把握させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、幕府や藩が産業の発達を奨励したことにより、貨幣経済が浸透したことを理解している。 (知・理)</li> <li>本単元に対して興味・関心を高めている。 (関・意・態)</li> </ul>
	<b>単元を貫く課題：江戸幕府の政治は、なぜうまくいかなくなってしまうのだろうか？</b>		

第 2 時	交通路の整備と都市の繁栄		
	<b>本時の課題：江戸時代の交通路や都市は、どのように発展したのだろうか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代に三都が大きく繁栄し、三都を結ぶ交通路が発展したことを理解する。</li> <li>江戸と大阪が担っていた役割について調べ、物資や貨幣の流れを図にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日光街道の宿場町であった越谷市の歴史について触れ、当時の交通路を身近なものとして捉えさせる。</li> <li>当時の物流の様子から、商人が経済力を高めたことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の物資や貨幣の流れを分かりやすく図にまとめている。(技)</li> <li>交通路や都市がどのように発展してきたのか、自分の言葉で説明できる。(思・判・表)</li> </ul>
第 3 時	幕府政治の安定と元禄文化		
	<b>本時の課題：江戸幕府5代将軍徳川綱吉は名君だったか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川綱吉の行った政治を把握し、人々の生活や文化に与えた影響を調べる。</li> <li>徳川綱吉が名君であったかどうかを五つの視点から考察し、自分の言葉で説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元禄文化の特色を捉えさせ、現在の生活にも影響を与えていることに気付かせる。</li> <li>綱吉の時代から、徐々に幕府の財政が苦しくなり、改革が必要になってきたことを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五つの視点（①側用人制度の導入、②生類憐みの令の発令、③火災・天災の発生、④貨幣改鋳の実施、⑤元禄文化の繁栄）から、課題に対する自分の答えを書くことが出来る。(思・判・表)</li> </ul>
第 4 時	享保の改革と社会の変化		
	<b>本時の課題：享保の改革は、社会にどのような影響を与えたのだろうか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川吉宗の行った享保の改革について、目的や内容、成果を調べ、まとめる。</li> <li>享保の改革後の社会の変化について調べ、改革のとの関連性について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政は一時的には立ち直りを見せたが、米の価格が安定せず、百姓の暮らしが苦しくなったことを、一揆などの出来事や、出稼ぎに出るなどの社会現象から気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>享保の改革の目的と内容、その成果について理解している。(知・理)</li> <li>改革が社会に与えた影響について考察し、百姓一揆などとの因果関係についてまとめている。(思・判・表)</li> </ul>

第5時	<b>田沼の政治と寛政の改革</b>		
	<b>本時の課題：田沼意次と松平定信の政策では、どちらが優れているだろうか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>田沼意次と松平定信の行った政策について、目的や内容、成果を調べ、まとめる。</li> <li>田沼の政治と寛政の改革が人々の生活に与えた影響について調べ、どちらが幕府の政策として優れていたかを考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田沼の政治がなぜ改革と名付けられていないか、簡単に触れる。</li> <li>当時の社会構造の変化を確認しながら、改革の効果について考察させる。</li> <li>幕府の政策の影響を受けるのは、国内の一部である事を補足する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田沼の政治と寛政の改革の目的と内容、成果について理解している。(知識・理解)</li> <li>田沼の政治と寛政の改革を比較し、目的・方法などの共通点と相違点について調べ、課題に対する自分の答えを出し、他者に説明している。(思・判・表)</li> </ul>
第6時	<b>新しい学問と化政文化</b>		
	<b>本時の課題：江戸時代に発達した学問や文化は、どのような特徴を持っていたのか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国学や蘭学の発達について調べ、社会に与えた影響について考察する。</li> <li>化政文化や教育の広がりについて知り、人々の生活が大きく変化していることを捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国学の大成が尊王攘夷運動に大きく影響していることを押さえさせる。</li> <li>文化が町人に支持されていることを理解させ、天保の改革の失敗の原因につながるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時の学問や文化に対して関心を高め、課題に対して意欲的に調べようとしている。 (関・意・態)</li> </ul>
第7時 本時	<b>外国船の出現と天保の改革</b>		
	<b>本時の課題：江戸幕府の政策は、国内外からどのように見られていたのか？</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国船の接近に対する幕府の対応について肥前藩と比較して考察する。</li> <li>様々な立場から幕府の政策への考えを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外に対する幕府の政策が失敗していることから、政治が行き詰まりをみせていることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外からの危機に対する幕府の対応について理解し、客観的な評価を自分の言葉で表現することが出来る。 (思・判・表)</li> </ul>
第8時	<b>単元のまとめ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、単元を貫く課題の答えを書く。</li> <li>単元テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習内容をしっかりと読み取ることが、課題の解答を導くことにつながることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題のまとめが書けている。(思・判・表)</li> <li>本単元の内容の理解し、知識を定着させている。(知・理)</li> </ul>

## 7 本時の指導計画

### (1) 本時の目標

国内外からの危機に対する幕府の対応について理解し、客観的な評価を自分の言葉で表現することが出来る。

### (2) 本時の評価規準

本時の課題について考え、自分の言葉で表現している。(思・判・表)

### (3) 本時の展開

段階	学習内容・学習活動	●指導上の留意点と支援の手立て ◎主な評価規準(観点)[評価方法]
導入	<b>1 前時の復習と本時の課題の把握</b> ・基礎基本テスト(4問)を行う。 ①本居宣長 ②伊能忠敬 ③葛飾北斎 ④藩校 ・ロシアの接近に伴う幕府の対応について確認し、本時の課題を把握する。	●毎時間の小テストの繰り返しを通して、授業に集中させる。 ●資料は黒板や ICT 機器で全体に提示し、資料の着目点を示しながら確認を進める。
<b>学習課題：江戸幕府の政策は、国内外からどのように見られていたのか？</b>		
展開	<b>2 フェートン号事件の概要と日本の対応</b> ・当時のヨーロッパの情勢についての説明を聞く。 ・フェートン号事件の概要を知り、幕府の対応について確認する。 ・異国船打払令の内容について調べ、各地の大名の立場や、外国人の立場だったらどうするか考え、意見交換を行う。 ・蛮社の獄の資料を読み、教師の補足説明を聞く。	●オランダがフランスに支配され、イギリスと戦争を行っていたことについて触れる。 ●モリソン号事件を用いて、異国船打払令の問題点を押さえさせる。 ●幕府の対外政策を批判した場合、厳しく処罰されていた状況を理解する。
	<b>3 肥前藩の改革と天保の改革の比較</b> ・フェートン号事件で影響を受けた肥前藩の改革について要点をノートにまとめる。 ・幕府の天保の改革について調べ、要点をノートにまとめる。	●肥前藩の他にも、改革に成功した雄藩が成長していることを捉える。 ●平成文化という視点を持たせ、現在熱中しているものを禁止されたらどう思うか、想像させる。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの改革を比較し、相違点を捉える。</li> </ul> <p><b>4 本時の学習課題の追求</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異国、大名、町人、百姓などの立場であれば、江戸幕府の政策をどのように感じるか考える。</li> <li>・実際に、どのような考えが広まっていたか、資料から読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肥前藩の改革と、江戸幕府の改革が対照的であることを確認させる。</li> <li>●教師がモデリングを行い、これまでの学習内容をしっかりと読み取ることが、課題の解答を導くことにつながることを示す。</li> <li>●考えを書く際に、根拠を持たせる。</li> </ul>
ま と め	<p><b>5 まとめと振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題について自分の言葉で書く。</li> <li>・自分の考えを発表し、情報をクラスで共有する。</li> <li>・本時の振り返りと学習の評価について、教師の話聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎本時の課題について考え、自分の言葉で表現している。 (思・判・表) [ノート]</li> <li>●江戸幕府の対応の危うさと、その後の歴史の流れに触れ、明治維新に向けた学習に関心を持たせる。</li> </ul>